

アラート

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系のモノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症状の既往歴のある患者には、使用しないこと。

【形状、構造及び原理等】

形状 : ペースト状
タイプ : 光重合型コンポジットレジン
組成 : PCDMA、EBPADMA、ホウケイ酸バリウム、
二酸化ケイ素、S2ファイバーグラス、その他
色調 : A2, A3, A3.5, B1, C2
容器 : ポリエチレン製シリンジ

【使用目的又は効果】

口腔内での歯の窩洞・欠損の成形修復(根管内への適用を除く。)又は人工歯冠の補修に用いる。

【適応症例】

- ・前歯及び臼歯の充填
- ・歯冠修復物及びレジン破折の補修

【効能又は効果に関連する使用上の注意】

- ①適正な重合条件で使用する。
照射器は、十分な光量をもつ歯科用可視光線照射器を用いること。また、使用する照射器の使用説明書に従い、定期的に光量の確認及び調整を行うこと。
- ②ボンディング材(「ボンド1」〔認証番号: 226AFBZX00067000 号〕)を修復部位に塗布する際は、リン酸エッチング(「37%エッチングジェル2」〔認証番号: 223AGBZX00210000 号〕)処理、水洗後、弱エア又はペーパーポイントなどで余剰な水分を除去するが、表面には水気が残った湿潤状態で「ボンド1」を塗布すること(ウェットボンディング法)。表面が乾燥してしまうと、脱灰した象牙質コラーゲンが収縮し、「ボンド1」の侵入がしにくくなる為、接着力の低下や知覚過敏を生ずることがあるので、十分注意すること。

【使用方法等】

【シリンジの取り扱い方法】

- ①シリンジの先端キャップをはずします。
- ②プランジャー部を時計方向に回転させ、充填に必要な量のペーストを押し出します。

【シリンジ取り扱い方法に関する注意】

- ・本材使用後はキャップを締めて保管すること。

【操作方法】

1. 充填準備

- ①窩洞形成、防湿
通法に従い窩洞形成を行い、ラバーダムを用いて処置部位の防湿を行います。
- ②エッチング
通法に従い、エッチング処理を行ってください。
エッチング材「37%エッチングジェル 2」をご使用の際は、製品の添付文書に従ってください。

③乾燥

余分な水分を市販のペーパーポイントで除去するか、弱エアを短時間(約2秒間)吹き付けて、形成歯面を湿潤状態にしてください。(ウェットボンディング法)

注意: 形成歯面を完全に乾燥させてしまうと、脱灰した象牙質コラーゲンが収縮し、ボンディング材(「ボンド 1」)の侵入がしにくくなるため、接着強さが低下したり、術後に知覚過敏を生ずる恐れがありますので、十分注意してください。

④ボンディング

通法に従い、ボンディング処理を行ってください。

ボンディング材「ボンド1」をご使用の際は、製品の添付文書に従ってください。

2. 窩底部へのフロアブルレジン充填

通法に従い、窩底部へフルアブルレジン充填を行ってください。
フロアブルレジン「フローイットALC」〔認証番号: 21400BZX00448000 号〕をご使用の際は、製品の添付文書に従ってください。

3. アラートの充填

①シェード選択

歯冠の色調に応じてシェードを選択します。(合計 5 色)

②充填

充填に必要な量の本材を採り、インスルメント等を用いて窩洞内に気泡を巻き込まないように圧縮充填します。その後、解剖学的形態を付与します。(アラートの重合深度は5mm 以内です。5mm を超える場合は数回に分けて光照射を行います。)

③光照射

ハロゲン照射器にて 40 秒間照射します。(修復の厚さが 5.0mm を超える場合は、窩洞の半分程度までアラートを充填し、光照射を 20 秒間行った後、充填を完了してから 40 秒間光照射を行います。)

④形態修正及び研磨

通法に従い、形態修正、研磨を行います。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ①本材を他の製品と混合して使用しないこと。
- ②使用後のシリンジは「廃棄物に関する法律」に従い、適切に処理すること。

【使用上の注意】

1) 使用注意

- ①本材と他のコンポジットレジンと練和して使用しないこと。所定の性能が発揮されない場合があります。
- ②使用に際しては、必ずラバーダム等の防湿処置を行うこと。
- ③照射光は直視を避けて、保護眼鏡等の防護処置を施すこと。
- ④使用中及び水洗中に本材を誤飲させないように注意すること。
- ⑤火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。

2) 重要な基本的注意

- ①本材又はメタクリル酸系のモノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ②本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ③本材との接触による過敏症状の予防のため、使用に際しては、手袋の着用等の適切な防護処理を行うこと。
- ④本材が口腔軟組織、皮膚に付着したり、目に入らないように注意すること。口腔軟組織、皮膚に付着した場合には、アルコール綿球等でふき取り、多量の水で洗浄すること。また目に入った場合には、直ちに多量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。

【保管方法及び有効期間等】

1) 貯蔵・保管方法

- ①本材は多湿、酸化剤、還元剤、直射日光、デンタルライト等の強い光を避けて、室温で保管すること。
- ②歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

2) 使用期限

本材は包装に記載の使用期限までに使用すること。

〔記載の使用期限は、当社データによる。〕

※

(例)  ○○○○ △△は、使用期限○○○○年△△月を示す)
記載の使用期限は、適正な貯蔵・保管方法を遵守した場合の未開封時における期限を示す。

開封後は添付文書に記載されている貯蔵・保管方法を厳守した上、できるだけお早めにご使用ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】*

ペントロンジャパン株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17

TEL. 03-5746-0316 FAX. 03-5746-0320

【製造元】

ペントロン クリニカル（アメリカ合衆国）

(Pentron Clinical)